

上野原縄文の森 だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2004.4
vol.5



第7回 企画展 開催中
新発見! 2004 速報展
～鹿児島県立歴史文化財センター～

コラム

テーマ

「照葉樹林の恵み」

私達の国日本は夏に雨が多く、冬は温暖な環境なので、どこにいても森林が見られる。

沖縄の先島諸島から奄美大島までは亜熱帯照葉樹林が、種子屋久から関東南部までの暖温帯では照葉樹林、関東北部から北海道の噴火湾以南は冷温帯の夏緑樹林、それ以北は亜寒帯の針葉樹林が茂っている。

日本の気候であれば、凡そ千年の時間をかけて裸地からそれぞれの気候帯を代表する森林が出来上がる。この変化の過程が遷移といわれている。遷移が進むにつれて多くの植物や動物が住みつき、種の多様性が高くなるが、その変化がおさまる頃の森林を極相(クライマックス)という。いろいろな植物の種子が風、動物に付着、或いは消化管を通して運ばれていくため、人が種子を蒔かなくても森ができていく。

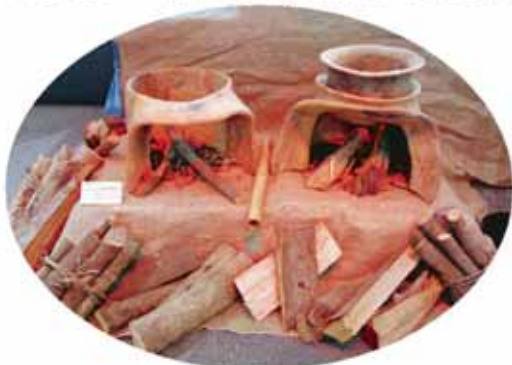
照葉樹林を作る樹木の殆どは根元から伐採すると、切り株から芽(萌芽)を出す性質を持っている。萌芽は既に大きな根を持っているので、種子からの成長よりもかなり早く大きく成長し、10年も経てばかなり大きくなる。樹木の株元から複数の幹が立ち上がっている形態は、萌芽再生の証拠となる。このようにして順繰りに伐採地を変えると十数年後には元の伐採地には立派な林が再生し、薪炭林として代々利用していくことができる。このような植樹なしで出来上がった森林は里山といわれている。

シイ林、マテバシイ林などは意図的にそのドングリ(堅果)を植えて育てた里山である。ブナ科の堅果に洗みを持たない種としてスタジイ、コジイ、マテバシイ、イチイガシ、クリがあり、三内丸山遺跡の住居の復元にはクリ、実際には大きな木がないので、ロシアから輸入したクリの木が利用されているが、当時はクリが主食の一つであった。

鹿児島県の遺跡から出土する炭化した堅果はイチイガシが多い。現在イチイガシが多い森林は極めて少なく、県の北海道といわれている伊佐郡一帯の川内川流域の山地にまとまって見られるが、イチイガシ林の分布は山陰、北陸を除いて、現在北部九州から関東へと分布が北上しつつある。イチイガシは材が堅く、歴史時代に入ってから農具に使われていた。

鹿児島県立埋蔵文化財センターでは、東九州自動車道の建設、九州新幹線鹿児島ルート建設、県農業開発総合センターの建設等に伴う発掘調査などを実施しています。

今回の企画展では、平成15年度の発掘調査報告をいち早く紹介しています。みなさんの身近にある遺跡はありませんか？



移動式のカマド (溝辺町 曲迫遺跡)

平安時代(約1,000年前)に使われていたと考えられる、移動式のカマドです。これで、どんな料理を作っていたのでしょうか。



三角山遺跡 (中種子町)



発見! 中世の石切場 梶城跡 (串木野市)

15世紀から16世紀中頃、主に「五輪塔」を作るための石を切り取った場所と考えられています。



桐木遺跡 (末吉町)



前回の企画展で人気のあったテフラバーなど一部コーナーも引き続きご覧いただけます。

平成16年度の企画展

各回、県立埋蔵文化財センターの職員による講演も予定しています。

※開催期間・内容等は変更になる場合があります。ご了承ください。

第8回

4月中旬～7月
「九州新幹線開通記念」

第9回

7月～10月下旬
「命と祈りの考古学」

第10回

10月下旬～1月下旬
「発掘されたかごしまの文様」

第11回

1月下旬～3月
「新発見! かごしまの遺跡」



縄文の森 “春まつり”

日時／5月3日(月)～5月5日(水) 各日10:00～15:00
場所／縄文の森 祭りの広場周辺
参加費／無料(体験内容によっては材料費が必要になります。)

5月3日(月)

- ・花で地上絵
- ・縄文食を味わおう
- ・何ができるかな?体験コーナー
- ・縄文の名工になろう
土器・石器作り、アクセサリー作り
編み物作り、火おこし など
- ・縄文人がやってくる!!
(縄文ファッションショー)
- ・わいわい縄文タウン(縄文出店)

5月4日(火)

- ・ナイスショット!!
(フリスビーを楽しもう)
- ・縄文食を味わおう
- ・何ができるかな?体験コーナー
- ・縄文の名工になろう
土器・石器作り、アクセサリー作り
編み物作り、火おこし など
- ・わいわい縄文タウン(縄文出店)

5月5日(水)

- ・めざせ!名ゴルファー
(グラウンドゴルフを楽しもう)
- ・縄文食を味わおう
- ・何ができるかな?体験コーナー
- ・縄文の名工になろう
土器・石器作り、アクセサリー作り
編み物作り、火おこし など
- ・わいわい縄文タウン(縄文出店)

★5/1(土)・2(日)は、各日11:30と15:00(できあがり時間)に、縄文レシピによる「石蒸しイモ」・「くん製卵」作りの実演と無料配布を行います。

平成16年度 ジョイJOYじょうもん事業

ジョイJOYじょうもん体験

1日体験コース

- 第1回 6月19日(土)
縄文のムラをつくろう
(粘土などでの模型作り)
- 第2回 9月18日(土)
音を楽しむ(土笛作りなど)
- 第3回 10月16日(土)
木の実で遊ぶ1日
(どんぐりを使っての創作活動)
- 第4回 12月18日(土)
クリスマスアートと正月飾り
(クリスマスリース・正月飾り作り)
- 第5回 1月15日(土)
大空に夢をのせて
(大凧作りと凧揚げ大会)
- 第6回 2月19日(土)
縄文の生活具づくり(籠・竪穴住居作り)



1泊2日体験コース

- 第1回 7月24日(土)・25日(日)
カブトムシ相撲大会、竪穴住居宿泊体験など
- 第2回 8月21日(土)・22日(日)
縄文土器作り、竪穴住居宿泊体験など



※写真は今年の1泊2日体験コースものです。

場所／縄文の森 体験学習館
時間／10:00～15:00(1泊2日コースは翌日13:00まで)
定員／40名
参加費／1日コース100円(保険料)
1泊2日コース1,100円(食事代、保険料)
各回とも実施日の2週間前までに申し込んでください。(先着順)

縄文の森 “秋まつり”

期日／10月2日(土)・3日(日)
時間／10:00～15:00
場所／縄文の森 祭りの広場周辺
内容／民俗芸能大会、音楽祭、縄文出店、縄文の名工になろう(土器・石器作り)、土器野焼きなど
参加費／無料(体験内容によっては材料費が必要になります。)



ウォーキング in 上野原縄文の森

期日／11月6日(土)
時間／10:00～14:00
コース／9500年コース(約6km)
7500年コース(約4km)
3500年コース(約2km)
定員／300名 ※2週間前までに申し込んでください。
参加費／100円(保険料)



東京で縄文の森をPR

1月22日、東京都内で行われた「第19回 鹿児島の日」に出展し、関東在住の鹿児島県出身者や一般の方々に、縄文の森の施設概要や園内で行っている様々な縄文体験活動について広くPRしました。



九州新幹線開業記念観光キャンペーンに参加しています

縄文の森で、九州新幹線開業記念観光キャンペーンガイドブックに付いている「特典チケット」を提示されますと、下記のサービスが受けられます。

■期間/3月13日(土)~6月30日(水)

■特典/①観覧料の割引(クーポン券1枚につき1人観覧料を2割引します。)

小・中学生150円→120円 高・大学生210円→160円 大人300円→240円

②先着1万人に縄文の森の「絵ハガキ(1枚)」をプレゼント

さらに、ハガキに記載している番号のうち、末尾番号が14・10・5の方には、「勾玉づくり体験の材料セット」をプレゼント

クーポン券は、縄文の森展示館1階受付にご提示ください。

※縄文の森レストラン「フォレスト」(展示館2階)では、クーポン券1枚につき「森のソフトクリーム(1個)」をプレゼント(縄文の森とは別にクーポン券が必要です。)

文化財を守ろう

「文化財防火デー」に防火・防災訓練を実施



1月26日、「文化財防火デー」にあわせて防火・防災訓練を行いました。この日の訓練には、縄文の森や県立埋蔵文化財センターの職員、国分中央消防署員ら約170名が参加。復元集落の竪穴住居から出火したとの想定で、見学者を避難誘導しながら、消火器やバケツリレーで初期消火を行い、駆けつけた消防車による放水も行われました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に世界最古の木造建造物である「法隆寺金堂」(奈良県斑鳩町)が焼損し、金堂内壁面に描かれた貴重な壁画に大きな被害が出たことを契機に、金堂修復完了後の昭和30年に制定されています。



消防車からの放水

森の逸品

上野原遺跡で出土した縄文時代早期(約7,500年前)の土製品で、国の重要文化財に指定されています。

パレット形土製品とも呼ばれ、片面が皿状にくぼんだ三角形をしており、一辺には斜めに貫通した7個の穴が一行に並んでいます。

ここ上野原遺跡では、このような土製品が破片を含め4点見つかっています。

全国的に出土例がなく、何に使われていたのかは不明ですが、他の出土品や上野原遺跡の持つ祭祀的な様相とも考え合わせると、祭祀に関わる土製品ではないかと考えられます。

みなさん、何に使われていたと思いますか?

③ 異形土製品



上野原縄文の森展示館 常設展示室

「7,500年前の上野原」コーナーに展示してあります。

上野原縄文の森支援友の会

どんぐり倶楽部

通信 ③



どんぐり倶楽部 この一年



▲ 7/26 鮎のくん製作り



▲ 8/23 紙トンボ・水鉄砲作り



▲ 9/13 月見の宴



▲ 9/27 だご作り



▲ 10/25 粘土クラフト作り



▲ 11/22 どんぐり染め



▲ 11/23 葛でバスケット作り



▲ 1/24 粘土で干支作り



▲ 2/28 竹馬作り

平成16年度も毎月1回、第4土曜日を中心に体験イベントを開催していく予定です。
ぜひご参加ください。



▲ 11/1 ウォーキング in 上野原縄文の森 (縄文の森主催事業のサポート)

この1年、どんぐり倶楽部（上野原縄文の森支援友の会）では、体験イベントのほかに、月1回の定例会、縄文の森主催事業のサポートや体験学習館での通常体験のサポートなどを行ってきました。

体験を中心とした活動を通して、利用者の方々に心温まる上野原の思い出を作っていただけだと考えています。

上野原縄文の森が開園して1年半が経とうとしています。

地域の財産でもある上野原遺跡。太古の人々が生活したこの地で、私たちも生活し、活動していることは、歴史のつながりを感じさせてくれます。

これからも上野原縄文の森が多くの方々に利用していただけるよう様々な方面に取り組んでいこうと考えています。

会長 植村春人

会員募集中！



あなたの特技
活かしてみませんか？

活動内容 ・縄文の森主催体験事業の指導補助
・体験メニューの開発 など

詳しくは、どんぐり倶楽部事務局（縄文の森内
TEL 0995-48-5701）までお問い合わせください。



クリスマスアート と 正月飾り



目前に控えた「クリスマス」と「正月」をお手製の飾りで彩ろうと、この日はさまざまな飾り作りを体験。

クリスマス飾りでは、かずらを使った「クリスマスリース」や松ぼっくりを使った「ミニクリスマスツリー」、空き缶を使った「キャンドル立て」、小枝を使った「小物入れ」を、正月飾りでは、大小の竹を組み合わせて「ミニ門松」を作りました。

各自園内で集めてきた木の实や木の葉、小枝などで、自分なりのアレンジを加えながら、色とりどりのすてきな飾りに仕上げていました。

今回の体験で作った飾りがきっと各家庭のクリスマスや正月を華やかに彩ったことでしょう。



かずらを編んでリースの土台を作るところ



ミニクリスマスツリー作り



クリスマスリース作り



ミニミニ門松のできあがり

第8回
12/20

大凧に夢をのせて

新春早々の1月3日、鹿児島県凧の会会員の指導のもと、小凧や連凧作りを体験しました。

今回制作した凧は、縦45cm、横36cmのひし形に切ったポリエチレンを竹ひごで固定し、最後に足(尾)を付けたシンプルなもの。

凧に今年の干支の猿の絵や新年の抱負などを思い思いに描き、さっそく凧あげに挑戦。9500年前の縄文のムラの空高く、たくさんの凧が舞いあがりました。

また、凧の会の会員による、4m×3mの大凧や長さ約200mの連凧あげのデモンストレーションも行われました。

1/3
第9回



ジョイJOYじょうもん体験は、上野原縄文の森の四季を彩る大自然とふれあい、学び、楽しみながらの体験を通して、縄文の森に親しんでもらうとともに、古代への関心をもってもらうことを目的とした事業です。



竪穴住居作り

竹(木の棒)を使って麻ひもを通すところ

麻ひもでの固定

完成？した竪穴住居

第10回
2/21

今年度最後のジョイJOYじょうもん体験となったこの日は、竪穴住居やカズラバスケット、麻ポーチ作りを体験しました。

縄文の森の職員から、上野原遺跡で発見された竪穴住居跡や縄文時代の生活についての説明を聞いて

縄文の生活具づくり

たあと、さっそく体験広場に設置されている竪穴住居の骨組みを使用して、「カヤふき」を体験。

束ねたカヤ(今回の体験では、昨年園内で刈り取ったカヤを使用しました。)を骨組みにそって立てかけておき、外側から竹の先に付けた麻ひもを内側に通して結び、固定していきます。この作業を繰り返して、2段・3段と少しずつ積み上げ、屋根のところまでふけば完成となります。

今回は残念ながら屋根まで完成できませんでしたが、縄文時代の人々の生活を楽しみながら体験することができたようです。

午後からは、園内で採れたカズラを使った「バスケット」や麻ひもを使って、縄文時代の編み方(アンギン編み)で編んだ、縄文風「麻ポーチ」も作りました。

来年度も楽しく学べる体験活動を計画しています。ぜひご参加ください。



カズラバスケット作り



アンギン編み



麻ポーチ作り

竹針で両端をぬっているところ



今年度はほぼ全回参加された家族です。記念に縄文の森特製カレンダーをプレゼントしました。



穂満ファミリー



石原田ファミリー

平成16年度 上野原縄文の森イベントカレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	※5日(こどもの日)は県内在住の小中学生観覧無料				

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※7・8月は開園時間午後7時
7/21~8/31は無休

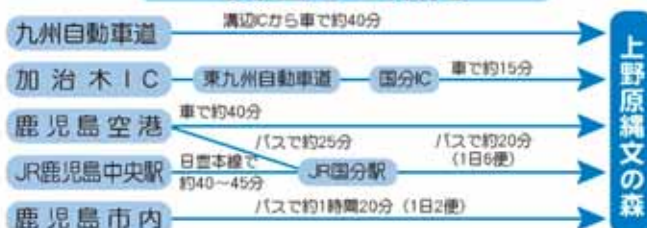
縄文の森“春まつり”開催日

ジョイJOYじょうもん体験開催日

休園日

- 【開園時間】** 午前9時～午後5時
(7月1日～8月31日は午前9時～午後7時)
- 【休園日】** 毎月第1・第3月曜日(休日の場合は翌日)
(4月29日～5月5日、7月21日～8月31日は無休)
12月30日～1月1日(年末年始)
- 【観覧料】** (団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料
◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として観覧するとき等は減免措置有り)

交通のご案内



【編集・発行】 財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4314 鹿児島県国分市川内1376番地1 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail : uenohara@jomon-no-mori.jp